

コード	30103
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	地域医療体制の充実
--------	-----------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実

課コード	111	関係課名	若松診療所、新魚目診療所
主管課名	健康保険課		

基本事業の目的

国立病院等の高度医療機関と企業団病院間の有機的連携を図り、診療科目の充実・専門医師等の確保に努め、近代的な医療機器の導入を目指すとともに、理学療法・機能回復訓練等の機能を充実して、総合医療機関としての質の高い医療の提供に努める。更に、一次医療を担う診療所の充実を図り、連携体制及び整備強化を進め、救急医療・災害時医療対策に対応できるシステムの整備を図り、町民の医療環境を確保することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	医療機関年間開設日数	成果指標名称 2	へき地診療所の開設数
成果指標の積算根拠	年間開設日数÷年間日数	成果指標の積算根拠	開設実績÷開設予定数
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成21年度
目標達成数値	365日	目標達成数値	1診療所開設

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	日	366	365	365	365	365
	実績 B		日	366	365	365	365	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位	開設数	1				
	実績 B		開設数	1				
	達成率 B/A		%	100.0				

1次評価	現状	医師、看護師等の医療従事者不足が深刻な状況から、平成21年11月、有川病院を上五島病院附属診療所有川医療センターとして入院機能を廃止し、平成22年10月から、若松・新魚目の各診療所を無床化した。更に平成24年4月、奈良尾病院を上五島病院附属奈良尾医療センターとして入院機能を廃止し、各診療所とも外来に特化することで、外来サービスの向上と当地域の医療体制の充実を図った。
	課題	適正な医療従事者数を確保しなければ、過酷な勤務状況を強いられることになり、ますます医療従事者の確保が困難になり、延いては医療機関の存続も危ぶまれる状況となる。医療再編後は新医療体制（入院機能、人工透析機能廃止等）の周知徹底と住民の理解が求められる。
	改善	医療機関の機能の分担と集約化による、医療従事者数の確保が急務である。また、町民の交通手段・交通費等の更なる検討も必要であると考えられる。
2次評価	医療再編計画に伴い、有川・若松・奈良尾・新魚目地区の入院を要する患者の付き添い者の交通費補助や人工透析患者の交通費助成などを実施しているが、今後も町民の医療サービスの低下にならない体制づくりや連携体制の強化、救急医療対策などに努め、地域医療の充実に努めること。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	301030503	医師確保対策特別補助事業	健康保険課	300千円	(途中) このまま事業を継続
2	301030505	入院介護者等交通費助成事業	健康保険課	759千円	(途中) このまま事業を継続
3	301030601	人工透析患者遠距離交通費助成事業	健康保険課	1,438千円	(途中) このまま事業を継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				2,497千円	